

一般社団法人長野県原種センター

令和元年度(2019年度)事業報告書

[概 況]

農業は国民生活に不可欠な食料の供給とともに、地域経済や文化を支え、景観形成や環境保全の役割を担う重要な産業ですが、産業構造の変化や流通・消費の多様化、情報通信技術の進展に伴い、農業者の減少や高齢化、農地利用の低下、農業生産の縮小など多くの課題を抱えています。

令和元年度は、果樹や農業用施設に大きな被害をもたらした台風第19号災害、社会・経済・生活全般に広範な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の発生など、異例の事象が続きました。種子生産では、7月に「長野県主要農作物及び伝統野菜等の種子に関する条例」が制定され、本年4月から県条例の下での主要農作物の種子生産が始まります。

こうした状況の中、令和元年度の当センターの事業につきましては、会員をはじめ関係機関・団体、農業者等のご支援ご協力の下に、職員一丸となって取り組んでまいりました。

主要農作物等の原種・種子生産供給事業につきましては、日照不足の影響等により一部品目で計画数量を確保できない状況となりましたが、全体的にはおおむね需要数量を確保することができました。

野菜種子等の生産販売事業につきましては、天候不良で生産計画を下回る品目があったものの、備蓄種子と合わせて概ね需要に即した数量を確保できましたが、販売面では主力品目であるキャベツ・野沢菜・レタスの需要の減少傾向が続いており、計画・前年を下回る結果となりました。野菜等苗の生産販売事業につきましては、イチゴ原苗の需要増により計画を上回る販売となりましたが、果樹原穂木等については既存品種の需要が伸びず計画を下回る結果となりました。

きのこ母菌等生産販売事業につきましては、第7期事業(2019～2021年度)の計画に沿った事業運営と母菌の安全・安定供給ができました。

経営基盤を支える基本財産等の運用につきましては、国債等を中心とした安全かつ効率的な運用に努め、概ね計画どおりの運用益を確保することができました。

[各部・事業別の実施状況]

1. 総務部

(1) 総務関係

ア 基本財産の運用については、基本財産運用規程及び運用計画に基づき、長野県信連の定期貯金550万円及び20年利付国債5億円・30年利付国債5億円により、安全かつ効率的な運用に努めました。

また、特定資産等(減価償却引当資産等)その他財産の運用についても、基本財産の運用に準じて、長野県信連の定期貯金及び地方債・政府保証債による運用を行いました。

その結果、概ね計画どおりの運用益を確保することができました。

- イ 公益目的支出計画の実施状況については、次のとおりです。(平成 25 年度より実施)
- 実施事業等 主要農作物原種の生産供給・遺伝資源種子等の保存・きのこ母菌の生産販売 (3 事業)
 - 平成 30 年度期末公益目的財産残額 2,047,196,489 円
 - 令和元年度公益目的収支差額(赤字額) △ 33,978,253 円
 - " 期末公益目的財産残額 2,013,218,236 円
 - 完了予定年月日 令和 79 年(2097 年)3 月 31 日(残り期間 77 年間)

ウ 固定資産については、主要農作物原種の生産に用いる農業機械のうち、耐用年数を超過し老朽化が進んでいた「田植機(乗用型)」及び「管理機」の更新を行いました。

エ 令和元年 11 月 14 日に長野県監査委員による「財政的援助団体等の監査」が実施され、その結果、指摘事項等はありませんでしたが、5 つの意見が出されました。

これに対する方針等について、令和 2 年 3 月 23 日開催の理事会へ報告を行い、了承されたため、それぞれ対応することとしました。

オ 主な開催行事

- 平成 31 年～令和元年
 - 5 月 21 日 平成 30 年度事業及び収支決算監査
 - " 理事会書面決議(事業報告書・貸借対照表等の承認他)
 - 6 月 11 日 理事会(事業実施状況報告, 財務規程の改正他)
 - " 第 13 回通常総会(事業報告書・貸借対照表等の承認, 役員補欠選任他)
 - 8 月 6 日 理事会書面決議(役員補欠選任に係る提案事項の承認)
 - 8 月 20 日 臨時総会書面決議(役員補欠選任)
 - 9 月 3 日 理事会書面決議(副理事長の選定)
- 令和 2 年
 - 3 月 3 日 理事会書面決議(事業計画書・収支予算書・基本財産運用計画の承認他)
 - 3 月 23 日 理事会(事業概要報告, 「財政的援助団体等の監査」における意見他)
 - " 第 14 回通常総会(事業計画書・収支予算書の承認他)

(2) 遺伝資源等保存事業

ア 遺伝資源保存施設の永年貯蔵庫において、植物遺伝資源種子 3,000 点余の保存管理や、長野県の農業関係試験場で新品種の育成等に用いる種子の提供を行いました。

また、信州の伝統野菜の種子について、受託方式による保存管理を行いました。

イ 同施設の中・長期貯蔵庫において、主要農作物種子の生産に用いる原種等の貯蔵及び入出庫を行いました。

2. 農産部

(1) 主要農作物原種生産供給事業

ア 長野県の主要農作物生産振興方針等に基づく種子生産計画に連動した原種生産計画を策定し、直営及び委託により高品質原種生産に努めました。

栽培記録簿及び栽培工程チェックリストを活用し、基本技術の励行と厳正な栽培管理の徹底を図るとともに、原種生産ほ場におけるほ場審査及び現地指導会の開催等による技術向上に努めました。

また、効果の高い種子消毒剤の活用と耕種的防除による水稻や麦の病害対策に取り組みました。

品質管理においては、生産した原種 6 品種・9 点について、DNA 分析による品種鑑定を行いました。

イ 水稻は、直営及び委託により、203 a で 11.5 t (計画対比 118%) を生産し、備蓄原種等を含め 7.7 t を供給しました。

麦は、直営及び委託により、200 a で 8.8 t (計画対比 112%) を生産し、備蓄原種を含め 7.6 t を供給しました。

大豆は、委託により、117 a で 1.7 t (計画対比 100%) を生産し、備蓄原種を含め 1.7 t を供給しました。

そばは、委託により、320 a で 2.8 t (計画対比 104%) を生産し、備蓄原種を含め 2.0 t を供給しました。

ウ 主要農作物原種全体では、生産は計画対比 113%、供給は前年対比 100%となりました。

(2) 主要農作物種子生産事業

ア 県の生産振興方針や需要動向を踏まえた種子生産計画を策定し、長野県、JA 全農長野、種子場 JA 及び関係団体と連携して、採種技術研修会や現地指導会を開催し生産者の技術向上に努めるとともに、作柄調査等により種子生産見込量の把握を行い、需要数量の確保に努めました。

また、優良な種子の生産体制を維持するため、採種部会の代表者や関係者による「主要農作物種場産地情報交換会」を初めて開催しました。

自然災害等の緊急時の備えと種子の安定供給のため、水稻・麦・大豆・そば種子の備蓄を行いました。

イ 水 稻

田植え後の低温と梅雨期の日照不足により生育がやや停滞しましたが、8月上旬以降の気温が高めに推移したため、県下各地の出穂期は平年並～2日程度の遅れとなりました。収穫作業は順調に進みましたが、台風 19 号の影響により収穫後半の作業に遅れが出ました。県下の作況指数は平年並みの 100 となりました。

種子生産については、茎数は平年並みとなりましたが、登熟期間中の8月中旬から9月初旬にかけての日照不足の影響による粒の肥大不足などから、品種により計画を下回る産地がありました。

水稲種子全体では、生産量 989 t (計画対比 99%)、供給量は 963 t となりました。

種子伝染性病害への対応では、水稲種子伝染性病害対策会議を通じ関係機関と連携して、特別対策地域での種子消毒剤の切換えや環境整備など、早期根絶に向けた技術対策に取り組み病害発生への減少等の成果が出ています。引き続き関係機関と連携して生産現場における基本技術の励行の徹底と効果的な防除対策に取り組んでまいります。

原種センター会員からの要望を踏まえて、県奨励・認定品種以外の品種「ミルキークイーン」の採種を開始しました。

ウ 麦

適期の播種が行われ、播種期以降は高温で推移したことから、越冬前の生育は平年を上回り旺盛な状況となりました。3月下旬以降は低温となる日もあり、出穂期は大麦で平年より2日程早く、小麦では平年より1日程遅くなりました。また、4月上旬と5月上旬の低温による凍霜害の影響を受けた産地がありました。

種子生産については、大麦の「シュンライ」と「ホワイトファイバー」が細身による歩留まりの低下があり、小麦では「ハナマンテン」「シラネコムギ」「ゆめきらり」「ユメセイキ」が凍霜害の影響で計画を下回りました。

他県からの当用注文や県内の需要動向に対応して、買増しや転用による種子の確保を行い、全体で生産量 290 t (計画対比 103%)、供給量は 287 t となりました。

エ 大豆

播種期以降順調に推移しましたが、7月上中旬の日照不足により全体的に草丈が短い傾向となりました。生育期間を通じて高温傾向で、生育後半は少雨であったため、小粒等生育に影響を及ぼしました。

また、台風17号のフェーン現象を伴った強風により、葉の枯死等の乾燥害の発生が見られた産地がありました。

種子生産については、開花期以降の高温・少雨やフェーン現象による葉枯れの発生などが影響して全ての品種で計画を下回り、全体で生産量 44 t (計画対比 71%)、供給量は 67 t となりました。

オ そば

夏そばは、播種後の出芽は良好でありましたが、低温や日照不足の影響により結実が劣り、低収量となりました。

秋そばは、生育期間を通じて高温・多照傾向であったことから生育は順調となり、一部の地域で台風の影響による倒伏が見られましたが、平年から平年を上回る収量となりました。

種子生産については、夏そばは転用を含めて 2 t (計画対比 125%) を確保しました。秋そばは 26 t (計画対比 83%) となり、「信濃1号」については、一部の採種地が湿害で低収となったことから計画数量を下回る結果となりました。

そば種子全体では、生産量 28 t (計画対比 85%)、供給量は 22 t となりました。

秋そばでは、栽培性や収量性に優れ、「長野S8号」の代替品種に予定されている新品種「桔梗11号(長野S11号)」の採種を開始しました。

カ 主要農作物種子全体では、生産計画対比 98%となり、水稻・麦については備蓄種子を含めて需要に対応した種子の確保ができましたが、大豆・そばについては品種によっては需要見込みを下回る確保数量となりました。

(3) 主な開催行事

○ 平成 31 年～令和元年

- 4 月 22 日 第 1 回農産専門委員会（大豆及びそば原種・採種ほ設置計画他）
- 4 月 24 日 大豆採種ほ設置会議・技術研修会
- 5 月 17～ 麦採種ほ作柄調査・現地指導会（J A 上伊那・佐久浅間他）
24 日
- 5 月 24 日 麦原種ほ審査会（須坂市・松代町）
- 6 月 5 日 麦原種ほ審査会（J A 信州うえだ）
- 7 月 9 日 夏そば採種ほ作柄調査・現地指導会（J A 上伊那）
- 7 月 25 日 第 2 回農産専門委員会（麦種子価格決定，水稻・大豆種子備蓄計画他）
- 8 月 6～ 大豆採種ほ作柄調査・現地指導会（J A 松本ハイランド・信州うえだ他）
28 日
- 8 月 19～ 水稻採種ほ作柄調査・現地指導会（J A 上伊那・みなみ信州他）
9 月 3 日
- 9 月 3 日 水稻原種ほ審査会（J A 佐久浅間）
- 9 月 4 日 水稻原種ほ審査会（須坂市・中野市）
- 9 月 26 日 そば原種ほ審査会（J A 信州うえだ）
" 秋そば採種ほ作柄調査・現地指導会（J A 信州うえだ・佐久浅間他）
- 10 月 1 日 そば原種ほ審査会（J A 上伊那・信州諏訪）
" 秋そば採種ほ作柄調査・現地指導会（J A 上伊那・信州諏訪他）
- 10 月 3 日 第 3 回農産専門委員会（麦原種・採種ほ設置計画他）
- 10 月 4 日 麦採種ほ設置会議・技術研修会
- 10 月 10 日 大豆原種ほ審査会（上田市・須坂市）
- 11 月 25 日 第 4 回農産専門委員会（水稻種子価格決定，水稻採種ほ設置方針他）

○ 令和 2 年

- 1 月 24 日 主要農作物種場産地情報交換会（長野市、採種部会代表者等）
- 3 月 9 日 第 5 回農産専門委員会（水稻原種・採種ほ設置計画，大豆種子価格決定）
- 3 月 12 日 水稻採種ほ設置会議・技術研修会

3. 園芸部

(1) 野菜等種子生産事業

ア キャベツについては、越冬中の凍害や欠株も少なく順調に生育しましたが、鳥害によりやや減収となり、計画対比 90%の生産となりました。

イ レタスについては、開花から登熟期の曇天や長雨等により、品種によって受精不良となり、計画対比 95%の生産となりました。

ウ 野菜等種子全体では、備蓄種子を合わせ、全品種とも概ね需要に即した数量を確保することができました。

(2) 野菜等種子販売事業

ア レタスについては、中信地域での「シナノホープ」(レタス根腐病(レースⅠ)抵抗性品種)や、東信地域での「サマーエース」(晩抽性が強く形質優れる)、「シナノパワー」(レタス根腐病(レースⅠ・Ⅱ)複合抵抗性品種)など、会員・生産者から引き続き評価をいただいておりますが、大手種苗会社による根腐病耐病性品種の販売により年々減少しております。

イ 野菜等種子全体では、主力品目であるキャベツ・レタスの需要が引き続き減少していることから、計画比で 61%、前年対比 87%の販売となりました。

(3) 野菜等苗生産販売事業

ア イチゴ原苗については、直営増殖に対する会員・生産者からの需要が高まったことから、計画対比 112%の販売となりました。

イ わさび苗については、わさび需要の減少により販売数量は年々減少しておりますが、安定供給に向けて原原苗を更新し、高品質苗の生産に取り組んだことから、計画対比 133%の販売となりました。

ウ 野菜等苗全体では、計画対比 115%の販売となりました。

(4) 果樹原穂木等生産販売事業

ア 果樹原穂木については、原種センター母樹園での長野県職務育成品種等の生産と供給に努めました。

イ ぶどう新品種「長果 G 1 1」の苗木生産量は増加したものの、既存品種の需要が伸びなかったことから、原穂木及び果樹証紙の販売が減少し、果樹種苗事業全体では計画対比 87%の販売となりました。

(5) 園芸種苗事業全体では、計画対比 70%、前年対比 92%の販売となりました。

(6) きのか母菌等生産販売事業

ア 「第 7 期(2019~2021 年度)きのか原種菌生産供給事業」の計画内容に基づき、製造等業務委託先である長野県農村工業研究所をはじめ、JA 全農長野及び JA 種菌センターと連携を図り、また長野県野菜花き試験場菌茸部の協力を得るなかで高品質母菌の安定供給に努めました。

また、県からの助成やＪＡ全農長野及び各ＪＡからの受託料・負担金により、円滑に事業を運営することができました。

イ 生産した母菌については、ＪＡ種菌センター、県野菜花き試験場及び農家によるモニター栽培を実施し、母菌の変異・異変の情報を早期に把握・対応するなど、母菌の品質管理に努めました。

ウ えのきたけ母菌については、長野県農工研育成の「GA12」や「iQ2」、県野菜花き試験場育成の「シナノアーリー」の生産を行い、1,095本を販売しました。

ぶなしめじ母菌については、長野県農工研育成の「NN-11・12」の生産を行い、806本を販売しました。

その他、県野菜花き試験場育成のバイリング「シナノ淡雪」を合わせ、母菌全体では1,904本を生産・販売し、計画数量比100%・計画金額比100%となりました。

(7) 主な開催行事

○ 平成31年～令和元年

- 5月24日 トマト委託採種ほ母株調査及び交配技術現地指導会（ＪＡあづみ）
- 7月3日 ピーマン採種ほ母株調査及び交配技術現地指導会（ＪＡあづみ他）
- 7月4日 キャベツ交配種子栽培検定調査（塩尻市）
- 7月23日 県職務育成品種果樹苗木生産状況調査（～9月10日、果樹協・ＪＡ）
- 8月6日 果菜類交配種子栽培検定調査（ＪＡあづみ）
- 8月21日 レタス種子栽培検定調査（上田市）
- 9月10日 果菜類交配種子調製技術研修会（ＪＡあづみ）
- 11月20日 だいこん採種ほ母本選抜及び採種技術研修会（ＪＡながの）

○ 令和2年

- 1月29日 園芸専門委員会きのこ部会（令和2年度きのこ原種菌生産供給事業基本方針・母菌価格の決定）

4. 種子事故・災害等補填事業

生産または販売を行う種苗について、気象災害や不慮の事故により損害が発生した場合の損失や、主要農作物種子の備蓄残量等の処理にともなう差損を補填するため、種子事故・災害等補填事業要領及び要項に基づき、準備金の積立て及び積立金より補填金の支払いを行いました。

(1) 準備金の積立て 28,160,834円

(2) 補填金の支払い

主要農作物種子残量処理 41,729,004円

水稲・麦・大豆種子の残量処理等にともなう差損補填

令和元年度(2019年度)種苗等生産供給・販売実績

1. 主要農作物等原種

(1) 水稲原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計画比	数 量	
うるち	コシヒカリ	kg 6,240	kg 6,050	% 96	kg 5,731	
	あきたこまち	860	860	100	733	
	風さやか	1,200	2,059	171	478	
	ひとめぼれ	380	567	149	103	
	天竜乙女	0	0	—	35	
	ゆめしなの	100	211	211	15	
	きらりん	100	196	196	16	
	ふくおこし	0	60	—	48	飼料イネ
	ミルキークイーン	0	0	—	57	奨励・認定品種以外の品種
	(小計)	8,880	10,003	112	7,216	
もち	もちひかり	340	261	76	100	
	カグヤモチ	0	0	—	20	
	モリモリモチ	140	433	309	32	
	オラガモチ	100	71	71	0	
	(小計)	580	765	131	152	
酒米 (醸造用米)	美山錦	190	260	136	245	
	ひとごごち	0	0	—	77	
	金紋錦	0	0	—	24	
	しらかば錦	0	0	—	5	
	山恵錦	100	515	515	15	
	(小計)	290	775	267	366	
合 計		9,750	11,543	118	7,734	

(2) 麦原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計画比	数 量	
大 麦	シュンライ	kg 1,350	kg 1,650	% 122	kg 1,300	
	ファイバースノウ	1,350	1,700	125	700	
	ホワイトファイバー	990	950	95	690	
	(小計)	3,690	4,300	116	2,690	
小 麦	ゆめきらり	980	970	98	1,053	
	ハナマンテン	700	715	102	936	
	しゅんよう	1,050	1,070	101	920	
	シラネコムギ	700	700	100	900	
	ゆめかおり	350	420	120	675	
	ユメセイキ	350	650	185	468	
	(小計)	4,130	4,525	109	4,952	
合 計		7,820	8,825	112	7,642	

(3)大豆原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計画比	数 量	
大 豆	ナカセンナリ	kg 1,200	kg 1,310	% 109	kg 1,273	
	すずほまれ	150	95	63	240	
	ギンレイ	180	180	100	112	
	つぶほまれ	150	145	96	156	
	すずろまん	75	40	53	15	
合 計		1,755	1,770	100	1,796	

(4)そば原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計画比	数 量	
秋 そ ば	蕎麦信濃1号	kg 1,800	kg 1,800	% 100	kg 1,530	商標: 信州ひすいそば 出願名称: 長野S11号
	長野S8号	765	0	—	306	
	タチアカネ	140	135	96	135	
	桔梗11号	0	888	—	100	
合 計		2,705	2,823	104	2,071	

※ 生産実績は元年度の原種数量であり、供給実績は元年度中(4月～3月)に供給した原種数量である。(備蓄等を含む)

2. 主要農作物等種子

(1)水稻種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計画比		
う る ち	コシヒカリ	kg 734,400	kg 733,760	% 99	kg 720,960	
	あきたこまち	100,300	97,360	97	95,080	
	風さやか	55,200	57,820	104	51,548	
	ひとめぼれ	12,000	12,000	100	13,264	
	天竜乙女	4,800	4,800	100	4,196	
	ゆめしなの	2,960	2,960	100	2,616	
	きらりん	2,220	2,220	100	1,280	
	ふくおこし	6,720	6,720	100	6,856	
	ミルキークイーン	5,200	5,760	110	5,760	
(小計)	923,800	923,400	99	901,560		
も ち	もちひかり	11,700	11,260	96	11,640	
	カグヤモチ	1,800	900	50	752	
	モリモリモチ	5,400	5,400	100	4,952	
	オラガモチ	1,800	1,800	100	480	
(小計)	20,700	19,360	93	17,824		
酒 米 (醸造用米)	美山錦	33,600	32,240	95	29,868	
	ひとごごち	9,600	8,980	93	9,584	
	金紋錦	2,400	2,400	100	2,400	
	しらかば錦	960	960	100	944	
	山恵錦	2,400	2,400	100	1,744	
(小計)	48,960	46,980	95	44,540		
合 計		993,460	989,740	99	963,924	

(2)麦種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
大 麦	シュンライ	kg 54,000	kg 52,725	% 97	kg 49,375	
	ファイバースノウ	31,500	38,000	120	38,000	
	ホワイトファイバー	27,000	31,200	115	38,100	
	(小計)	112,500	121,925	108	125,475	
小 麦	ゆめきらり	40,260	38,790	96	42,450	
	ハナマンテン	30,810	32,190	104	31,620	
	しゅんよう	34,500	36,900	106	35,460	
	シラネコムギ	21,000	20,070	95	16,110	
	ゆめかおり	21,720	21,720	100	20,280	
	ユメセイキ	18,900	18,900	100	15,900	
	(小計)	167,190	168,570	100	161,820	
合 計	279,690	290,495	103	287,295		

(3)大豆種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
大 豆	ナカセンナリ	kg 43,520	kg 34,340	% 78	kg 48,980	
	すずほまれ	9,000	3,300	36	8,240	
	ギンレイ	4,800	4,640	96	4,780	
	つぶほまれ	4,340	2,200	50	5,500	
	すずろまん	900	240	26	350	
合 計	62,560	44,720	71	67,850		

(4)そば種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
夏 そ ば	しなの夏そば	kg 1,800	kg 2,250	% 125	kg 2,588	
秋 そ ば	蕎麦信濃1号	23,400	18,180	77	15,345	
	長野S8号	6,390	2,745	42	3,623	商標: 信州ひすいそば
	タチアカネ	1,755	1,755	100	1,148	
	桔梗11号	0	3,713	—	0	出願名称: 長野S11号
	(小計)	31,545	26,393	83	20,115	
合 計		33,345	28,643	85	22,703	

※ 生産実績は元年度の原種数量であり、供給実績は元年度中(4月～3月)に供給した原種数量である。(備蓄等を含む)

3. 野菜等種子

種 類	品 種	生産実績		販売実績			
		数量	計画比	数量	計画比	金額	計画比
キャベツ	S E	0	%	0	%	千円	%
	Y R S E 他	—	—	31.5	85	5,734	86
	(小計)	50.6	90	11.2	53	2,307	53
	(小計)	50.6	90	42.7	74	8,041	73
野 沢 菜	ニューシナノ	—	—	76.6	81	1,530	86
レ タ ス	シナノホープ	28.8	120	8.1	43	3,227	48
	サマーエース	6.5	93	4.6	55	1,703	56
	ナガノヴィーナス他	8.4	56	6.8	35	2,714	30
	(小計)	43.7	95	19.5	41	7,644	41
パセリー	洗馬系	—	—	11.4	38	298	38
だいこん	戸隠おろし他	4.4	55	15.1	94	529	94
ト マ ト	なつのしゅん	8.7	79	7.0	37	1,810	37
	ろじゆたか他	—	—	3.7	46	1,005	50
	(小計)	8.7	79	10.7	40	2,815	40
ピーマン	ベルホープ	39.6	205	33.0	110	7,461	116
	ベルマサリ	3.4	200	2.4	67	664	71
	台パワー	—	—	0.8	33	289	38
	(小計)	43.0	205	36.2	101	8,414	104
アスパラガス	ずっとデルチェ他	1.0	33	1.3	43	195	46
えんどう	さやたろう	16.6	83	14.8	106	64	114
色大豆原種	華大黒他	667.5	68	693.0	69	926	68
合 計		835.5	73	921.3	69	30,456	61
せんぶり	みまき1号他	g	%	g	%	千円	%
		915	203	915	203	226	207
総 合 計						千円	%
						30,682	61

4. 野菜等苗

種 類	品 種	苗形態	生産実績	販売実績			
			数量	数量	計画比	金額	計画比
イチゴ原苗	サマープリンセス サマーエンジェル 長・野53号 章 姫 紅ほっぺ (小計)	鉢苗	本	本	%	千円	%
			1,962	1,962	103	745	105
			0	0	0	0	0
			4,091	4,091	136	1,488	137
			9,057	9,057	101	3,275	101
			6,021	6,021	118	2,224	120
(小計)			21,131	21,131	111	7,732	112
わさび培養苗	長・野23号	プラグ・鉢苗	9,660	9,660	133	1,407	133
採種用原苗	レタス他	鉢苗	759	759	103	33	106
合 計			31,550	31,550	117	9,172	115

5. 果樹原穂木他

種 類		品 種	生産実績	販 売 実 績				
			数量	数量	計画比	金額	計画比	
苗 木 (複生母樹)	ぶどう台木	1 0 1 - 1 4	本 160	本 160	% —	千円 216	% —	
原 穂 木 原 穂 木	り ん ご	シナノスイート	kg 21.0	kg 21.0	% 84	千円 67	% 92	
		シナノゴールド	6.0	6.0	60	33	81	
		シナノリップ	3.0	3.0	60	30	60	
		長 ぶ 1 2 他	19.0	19.0	76	67	60	
		(小 計)	49.0	49.0	75	197	71	
	な し	サザンスイート他	1.0	1.0	50	6	46	
		ぶ ど う	長 果 G 1 1	34.0	34.0	68	372	68
			ナガノパープル他	6.6	6.6	220	43	215
	(小 計)	40.6	40.6	77	415	73		
	も も	な つ つ こ	紅 晩 夏	13.0	13.0	260	86	261
			(小 計)	1.0	1.0	33	5	31
		ネクタリン	サマークリスタル	1.0	1.0	100	6	120
		ネクタリン長果2	2.0	2.0	67	22	67	
	(小 計)	3.0	3.0	75	28	74		
	あ ん ず	信州大実他	3.5	3.5	117	7	117	
プ ル ー ン	サマーキュート他	1.0	1.0	100	6	100		
す も も	シナノパール	1.0	1.0	100	10	100		
ぶ どう台木	5 B B	79.0	79.0	99	304	99		
	1 0 1 - 1 4	119.0	119.0	119	458	119		
	(小 計)	198.0	198.0	110	762	110		
合 計			311.1	311.1	98	1,522	92	
果 樹 証 紙			枚 75,440	枚 75,440	% 78	千円 2,222	% 76	
総 合 計						千円 3,960	% 87	

6. きのこ母菌他

種 類		品 種	生産実績	販 売 実 績				
			数量	数量	計画比	金額	計画比	
母 菌	え の き た け	長野農工研GA12	本 231	本 231	% 79	千円 1,482	% 79	
		長野農工研iQ2	587	587	98	3,769	98	
		シナノアーリー	277	277	133	1,780	133	
		(小 計)	1,095	1,095	99	7,031	99	
		ぶ な し め じ	N N - 1 1	52	52	100	334	100
	N N - 1 2		754	754	100	4,840	100	
	(小 計)		806	806	100	5,174	100	
	バイリング	シナノ淡雪	3	3	—	19	—	
	合 計			1,904	1,904	100	12,224	100